



みんなで  
春をつくろう

／ 地域の良さを再発見 ／

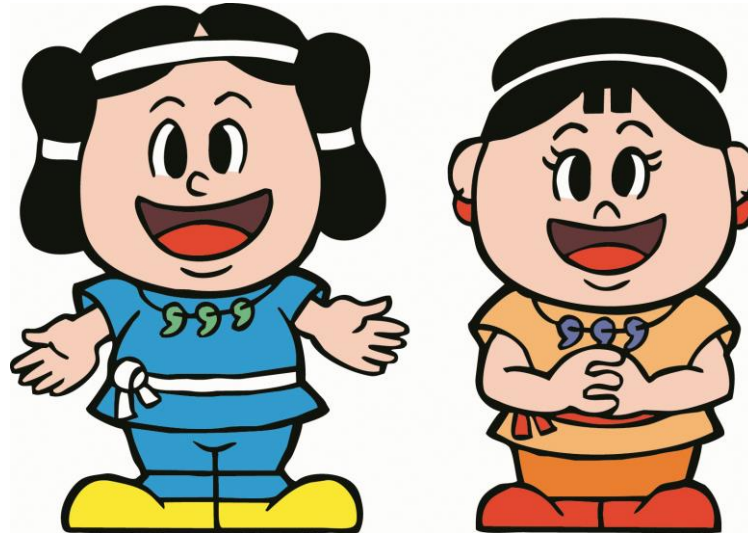
# わがまちサポーター育成事業

---

春日市 地域生活部 地域づくり課

- 1 春日市のあれこれ
- 2 わがまちサポーター育成事業って何？
- 3 どんな流れではじまるの？
- 4 これまでの活動実績

# 春日市のあれこれ



## 春日市の紹介



総面積：14.15km<sup>2</sup>（県内54位）

人口：113,285人（11月末現在）

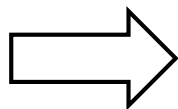
世帯数：49,907世帯（11月末現在）

人口密度：8,006人/km<sup>2</sup>（福岡で1番人口密度が高い市）

職員数：400人（人口1000人当たりの職員数：3.14人）

## 行政だけでやれることの限界

- ・ 多様化する市民ニーズ
- ・ 新たな社会問題の表出 等



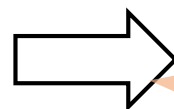
**求められる  
公共サービスが増加**



**行政だけで担うには限界がある！**

## 多様な主体間の協働が必須

行政、自治会、企業、  
市民団体、NPO等による  
協働の事業展開



市民サービスの  
向上



## 春日市の目指すべきまちづくり

地域の主体性や自主性を尊重し、  
お互いの立場を理解しながら、一緒に汗を流して  
まちづくりに取り組むことができる地域社会の構築

= 「協働のまちづくり」

協働のまちづくりを進めるために

地域のことを最もよく知っている

**自治会の存在が必要不可欠！**



# 春日市の自治会制度 1

春日市では、平成21年度に自治会制度改革を実施。

## (1) 地区世話人制度等の廃止

→地区世話人、生涯学習推進員（公民館長）、環境推進員など、各地区単位で委嘱していた非常勤特別職を廃止。

## (2) 補助金の一本化

→事業ごとに交付していた補助金を一本化し、自治会の裁量で地域の特性に応じた資金活用ができるようにした。

## (3) 地域組織の一元化

→自治会と公民館の二重構造を解消。

## 春日市の自治会制度 2

自治会制度改革によって…

- ・自治会は、より裁量を持って地域自治を推進できるように
- ・行政と対等な立場となり、春日市のまちづくりを担う重要な存在に



## 地域力の向上を目指して

自治会制度改革によって、効率的な組織化もされたし、地域自治を進めるための仕組み的にも金銭的にも自由度は増したけど…能力の高い人材不足だなあ…



## 地域力の向上を目指して

わがまちサポーター  
育成事業を導入



アドバイス  
人材育成

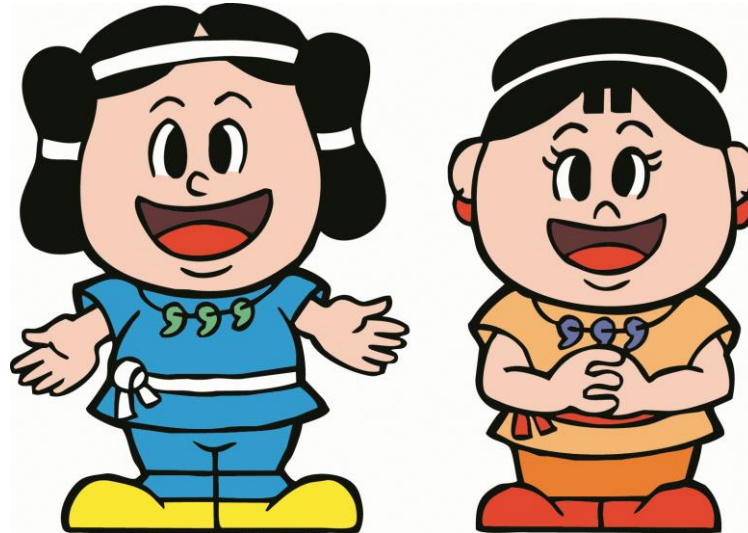


地域課題を相談



自治会

# わがまちサポーター 育成事業ってなに？



## 目的

- ◎まちづくりのパートナーである地域の良さを発見し、その良さを伸ばすとともに、地域課題の発見・検証を行う。
- ◎検証された課題の解決に向け取組の実践を行うことで、地域力の醸成・向上を図る。

## 講師

### 今泉 重敏 先生

(株)まちづくり計画研究所代表取締役。

まちづくりに関する調査・研究、市町村の総合計画、観光まちづくりの振興、ひとづくりによる地域おこし等を専門的に行う。「笑顔あふれる笑店街づくり」「農家が元気になる松尾百笑村（農林水産大臣賞受賞）」等、数多くのユニークな事業、実践を行う。



## 4つの目標 その1

地域住民が安全で安心して暮らすための

**地域の良さ、地域の課題、要因**

を探る。



## 4つの目標 その2

地域課題解決のために

**必要なもの、足りないもの、解決方法**

を探る。

## 4つの目標 その3

課題解決のための **仲間作り**

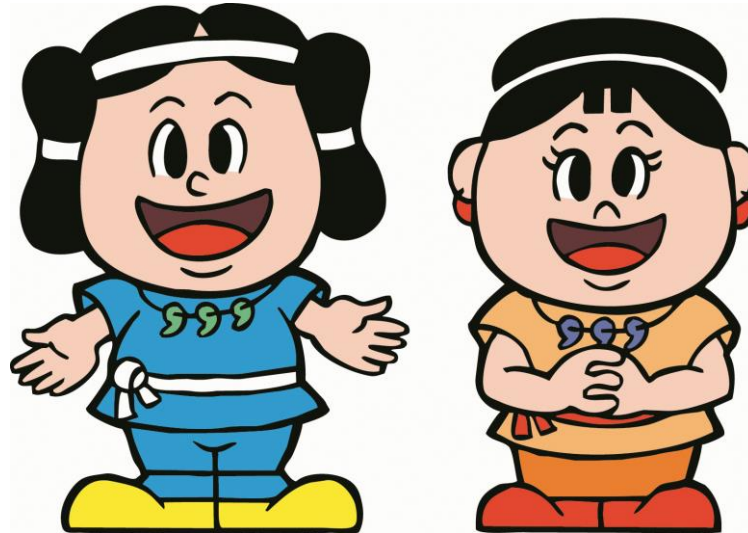
団体育成のための **ネットワーク作り**

を行う。

## 4つの目標 その4

ネットワーク支援体制作りのために  
自治会と関係団体との  
**連携強化**を図る。

／ どんな流れ？ ／



## 1 自治会・講師・行政で打ち合わせ

自治会がやりたいことや課題についてみんなで共有する。

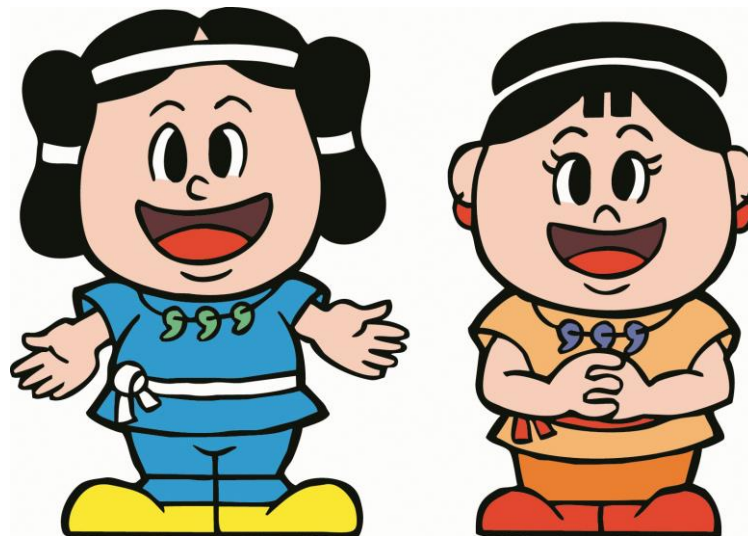
## 2 課題解決に向けたワークを実施

自治会の課題を解決するために、講演やまち歩き、ワークショップ等、様々な手法から最適な手法を選択し実践する。  
なるべく自治会の要望に沿った形で実施。



みんなで  
春をつくろう

# これまでの 活動実績



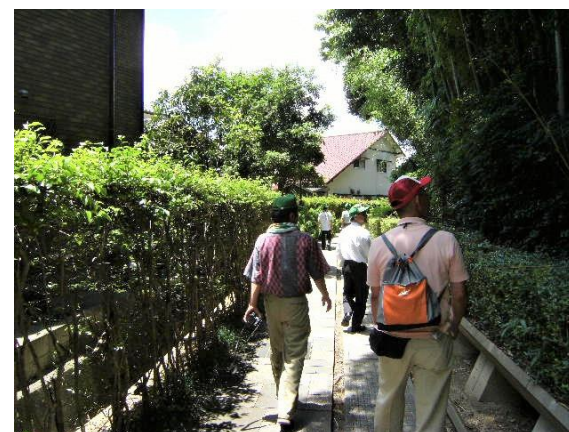
## 天神山地区（平成23・24年度）



アドバイザーと地区住民によるワークショップや視察等  
を実施し、郷土愛を育み、他地区との協力体制を築く。

## 成果

- ・ 地区自治会の総合計画や安全安心通学路マップを作成し、全戸配布。
- ・ 安安大声隊を結成し、いつでも大声が出せるように地区行事の際に大声出し訓練を実施。
- ・ 玄関先に3段の花壇を置き、景観美化を図る「美自他運動」を実施。
- ・ 松尾百笑村（八女市立花町）との交流。





## 若葉台東地区（平成25・26年度）



アドバイザーと地区住民による会議を行い、地区の運動会や自治会創立30周年記念式典等への参加を促し、まちづくりに興味を持ってもらう。

# 成果

- ・自治会創立30周年記念式典で、小・中学生が若葉台東地区の将来像について発表。参加者で記念撮影や寄せ書きを作成・今後10年間のまちづくりビジョンや自治会の基本理念、将来像（スローガン）を策定。
- ・花の水やりを通して地域コミュニティを活性化させることを目的に、立体的な額縁の花壇を作る「街かど美術館」を実施。



## 桜ヶ丘地区（平成27・28年度）



住民誰もが参加できる取組を行うことにより、自治会活動に興味を持ち、自治会への加入促進を図る。

## 成果

- ・子どもたちの登下校時に、子どもたちを見守る「見守り隊」とあいさつを交わすことによって、地域住民同士のつながりを深め、関節的な防犯活動を行う「あいさつde防犯活動」を実施。
- ・住民同士があいさつを交わすことで顔の見える関係となり、「不審者が入れないまちづくり」を行い、防犯・安全面の向上を目指し、自治会活動への参加と加入率の向上を目指す。





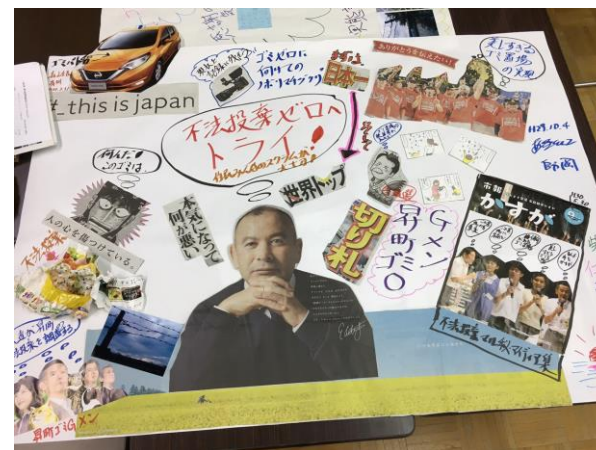
## 昇町地区（平成29年度）



アドバイザーと地区住民による会議を行い、講義と実動により昇町の魅力を発見・発信する。

## 成果

- ・ 昇町地区の魅力や課題について、参加者それぞれの意見を出し合い、情報共有を行うことによって、改善する課題を絞り込む。
- ・ 今現在、地域にある素材を生かして、グループに分かれて企画書を作成。「不法投棄ゼロへ“トライ”!」、「お宝発見!! のぼりまちウォーク事業」、「地域の見守り力アップ事業」の3つの企画案を作成。



## ちくし台地区（平成30年度）



アドバイザーと地区住民による会議を行い、講義と実動によりちくし台地区での課題解決を目指す。

## 成果

- ・ ちくし台地区の魅力や課題について、参加者それぞれの意見を出し合い、情報共有を行うことによって、改善する課題を絞り込む。
- ・ 地域の課題を解決するため、グループに分かれて企画書を作成。「あいさつ運動プロジェクト」「ちくし台子ども110番プロジェクト」の2案が作成された。





## 下白水南地区（令和元・2年度）



コミュニティ・スクールについて広報する媒体や手法について、アドバイザーの意見を参考にしながら検討する。

## 成果

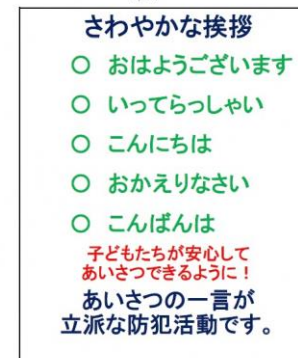
- ・ コミュニティ・スクールが浸透していないという課題を解決するために、地区住民に広報する媒体や手段を、アドバイザーの経験を基にみんなで検討。「コミュニティ・スクールってなに？」という広報チラシを作成した。
- ・ 日頃から課題に感じていた「あいさつ」について、地区で目印になるステッカーを作成し、地区全体であいさつ運動を推進していくことを決定した。



表



裏



## わがまちサポーター育成事業を通して…

- ◎地域の最先端で活動する人たちが、各地区の地域性を生かしながら、その地域のために知恵と魅力を出し合い、共に考える機会になる。
- ◎事業終了後も、断続的に事業に取り組むきっかけになる。

**= 地域の魅力再発見・人材育成**

ご清聴  
ありがとう  
ございました！

